

投雪口を使用する際の注意事項

平成30年1月、投雪口へ小学生が転落する事故がありました。また、平成30年11月、ふたに取りつけたひもに、歩行者の方が足をとられて転倒する事故がありました。そのため市では、安全を確保した上で、投雪口を引き続き皆様に御使用いただくために、逸失した格子状の中ぶたを再設置固定し、安全確保を図ったところですが、利用の仕方によっては大きな事故につながりかねないこと、また、利用者の方に責任が及ぶことがありますので、今一度、投雪口を御利用の際には、下記の注意事項を確認し、安全に御使用いただきますようお願いいたします。

○投雪口はみんなで管理し、事故をなくしましょう

- ・ 一度に多くの雪を投入すると、雪が詰まり、水があふれる場合がありますので、注意して使いましょう。
- ・ 投雪口に**子どもが転落する事故を防ぐため、通学時間帯は利用しない**ようにしましょう。

○「ふた」はきちんと閉めましょう

- ・ 投雪口のまわりは、人も車も通ります。特に、暗くなると「ふた」に気付きにくくなり、事故が発生しやすくなりますので、投雪口の「ふた」の開閉には十分注意しましょう。
- ・ 投雪終了後は「ふた」が完全に閉じているか確認しましょう。
- ・ **ふたを開けたままその場を離れることは非常に危険**です。投雪していないときは、必ず「ふた」を閉めましょう。
- ・ **固定された格子状の中ぶたを、取り外して投雪すると転落するおそれ**がありますので、絶対にやめましょう。
- ・ **ふたに開け閉め用のひもを結ぶことは、歩行者がそのひもに足をとられて転倒するおそれ**がありますので、絶対にやめましょう。

○機械による投雪はやめましょう。

- ・ 投雪口にショベルローダなどの除雪機械で雪を直接投入すると、「ふた」が破損するおそれがありますので、スノーダンプや人力で投雪するようにしましょう。

○使用中の安全対策をとりましょう。

- ・ 使用中は、**周囲に柵と使用中であることを示す看板などを設置**して、投雪口の位置がわかるようにしましょう。